

福岡県

福岡県退職中学校長会

結成 昭和41年10月15日

◇ 現在までの歩み

昭和41年に福岡県退職中学校長会が吉武不二男会長を中心に、副会長5名、理事5名、監査2名の13名を中心にして発足した。会結成の事前検討会で、福岡県退職小学校長会との合併問題も論議されたようであるが、結局は別々で出発した。

◇ 組 織

会長1・副会長8・監査3・参与1・事務局11（事務局長1・次長1・総務1・組織3・広報2・事業3）

◇ 福岡県退職校長会連絡協議会の設立

上記のように、福岡県における退職校長会は、小学校・中学校別に組織された、全国的にもめずらしい形態となっている。このことで、現在の教育の在り方の変化等から小中退職校長会の一体化の要望が各方面から出てきた。

3～4年間の連携を深める話し合い・会則改正等を経て、下記の理由等から福岡県退職校長会連絡協議会を設立した。（H.26.07.29）

- ① 小中一貫教育及び連携教育の導入や、異種学校間の学校長人事交流の活発化等、学校の在り方の変化に対応するための連携強化を図る。
- ② 小中それぞれの退職校長会は40数年の歴史と独自の活動を行っており、すぐに完全一体化をすることには無理がある。
- ③ 連絡協議会では、それぞれの組織は独立性を保ちながら、退職校長会としての基本的または共通事項について一体化した活動ができる。また、関係諸機関及び団体との折衝等についても窓口一本化ができ、スムーズな関係が保たれる。

◇ 趣味の作品展（美術展）開催

生涯学習が推奨されるようになり、会員に「生き甲斐を目指した生涯学習」の理解と浸透を図る為、福利・厚生事業の一環として、昭和55年から「趣味の作品展」を始めた。

経費は積み立て、3年ごとに、会場は8地区を4ブロックに編成し、輪番制とした。

ブロックの組織力に差があり、他のブロックに代替をすることもあるが、会を重ねるごとに優れた作品が多く出品されるようになり、会場も設備の整った美術館を使用することが多くなった。平成15年からは、福岡県、福岡市の両教育委員会並びに地元の新聞社や放送局の後援も受けている。平成26年の「美術展」では出品数156点、6日間の見学者（会員）数は546名に達した。

